

持明院「はすの会」事務局

〒530-0001

大阪市北区梅田1-3-1

大阪駅前第一ビル9階

株式会社高野山寺月会

電話 06-6348-0530

FAX 06-6348-0170

メール renraku@hasunokai.jp

HP www.hasunokai.jp

はすの会 会報 No.58

令和元年(2019年)8月20日発行
平成8年(1996年)11月1日初版発行



同行二人の旅

四国八十八か所霊場巡りが静かなブームを呼んでいます。心の悩みを抱えた人が、ただ一人で歩いても同行二人、いつもお大師さんが寄り添ってくれる異次元の旅。お遍路みちには人を魅きつける何があり、そこで人々は何を得るのだろうか。

四国遍路の原型は、お大師さんの以前、役行者や行基など修験道の修行地として存在していました。弘法大師ご入定の後、大師信仰の急速な広がりから大師の聖地として光があてられることになりました。当初のお遍路は、弟子や修行僧たちが中心となり、大師が修行されたゆかりの場所を巡礼していました。四国八十八か所遍路が現在のような形を整え、一般の人たちも巡礼するようになったのは、中世室町以降江戸にかけての時代で、特に元禄の頃、僧真念が、お遍路ガイドブックを作成し

たのがブームの基礎になったといわれています。以来、所願成就や病氣平癒を願う人達が全国から集まってきました。

全四国を巡る遍路みちは行程1400キロに及びます。昔は60日を費やし、道路が整った現在も50日以上はかかります。

また観光を兼ねて車やバスを利用し、およそ一週間位で巡る人も多く、調査によると年間20万人を超え、その内昔ながらの歩き遍路は五千人位だそうです。

現在、どのような人たちがお遍路になるのだろうか。

定年を迎え、第二の人生をどう生きようかと考えている60代の人たちが最も多く、次いで多いのが20代前半の若者だそうです。

若い人たちは、これからの進路や自分探しの旅でしょうか。

特に驚かされるのは、リピーターの多さ、なんと60パーセント

の人がリピーターだそうです。

お遍路みちには、昔から「お接待」と呼ぶお遍路さんを優しく受け入れてくれる土壌がありました。その行為は、托鉢僧にお布施をし、徳を積むのに似ています。こうした両者の心の交流がリピーターの多さにつながっているようです。

名刹・札所「竹林寺」のご住職のお話によると「お遍路はお大師さんと共にその足跡をたどることにあり、歩き続けることによって、今迄見えなかったものが見えてきて、心のありようも変わり、気付かされることもあるでしょう。昔から宝物は遍路みちにこそ落ちているといわれました。」

お遍路の旅は、悟りこそ得られなくても何か得られるものがあり、それを求めて多くのリピーターが、今日もお遍路みちにやっています。

会員便り 『生前お約束した一番大切な事』

遺骨の引き取りは原則として親族とする。「大阪市立斎場保管遺骨取扱要綱第4条2項保管遺骨の引き渡し」

遺骨を引き取る親族が無い場合斎場で保管している遺骨で、火葬した日から1年経過後、最初の8月31日までに遺骨を引き取る者が無いときで、斎場に保管している期間中に親族以外の関係人から遺骨引き取りの申し出があるときは、第2項の規定にかかわらず9月1日以降、誓約書等を徴したのちに引き渡すものとする。

〔同綱第4条4項〕

〈スタッフ 前田 昭博〉

今から18年前、平成13年5月私がお亡くなりになりました。しづい様は、独居でした。昨年83歳でお亡くなりになりましたが、当時はまだ66歳でした。

今から思うとご自身の納骨法要料をお預けするにはまだ早いと思いましたが、将来発生する料金を早期に預けて安心していただけたのでしたらと思います、その手続きにお伺いしました。

その日を皮切りに、しづい様の終活プランがスタートしました。

平成23年6月、ご自身が亡き後の葬儀の手続きやご遺骨の手配を引き受けて頂く信頼のおける知人（通っている指圧の病院で知り合った方）との顔合わせに呼ばれました。

平成26年9月、ご自宅の仏壇と

お別れする為、僧侶による撥遣はっけん供養と仏壇の引き取りの手配。（はすの会にて僧侶と仏壇業者の手配）

しづい様亡き後の手続きを行っていた代理人を、お世話になつて居る介護サービスの担当者に変更、私との顔つなぎをしまし

た。その時しづい様は79歳。

平成27年3月に、祖母の五十回忌法要料金をお預かりに伺いました。これが、しづい様とお会いした最後の日になりました。

平成30年7月某日に昨夜亡くなられた旨の連絡が、介護サービスの担当者様よりありました。

ご自身の葬儀費用は、介護サービスを経て葬儀社に既に預け済ですし、もちろん納骨料金もはすの会で18年前に預かっていましたので、ご遺骨の引き渡しが進めば、しづい様のご希望通りご自身の納骨法要を実行することが出来ます。

しかし、しづい様は独居でしたので、火葬後ご遺骨を引き取る親族がいないため、親族でない私や、介護サービス担当者が直ぐにご遺骨を引き取ることが法律上できません。（冒頭の法律）

当然、このことは既に把握して

いましたので一年が経過しましたが今年（令和元年）9月になりましたら大阪市立小林斎場で故しづい様自身のご遺骨を私が引き取り、晴れて持明院にて納骨法要をしていただきます。

生前しづい様よりお約束しました永代供養とお大師様のおひざ元への埋骨は責任もつてはすの会にて実行いたしますので、より安らかに眠り下さい。

会員様 投稿写真

岡山県 小坂則生 様



後樂園

はすの会だより・今後の取り組み

事務局スタッフ 前田 昭博



私たちの永代供養は、単なる合ごう祀墓しではありません。またビルや倉庫型の納骨堂でもありません。

多死時代、そして増え続ける孤独死に備えて、会員個々の事情に寄り添い、改葬・納骨・遺骨の引き取り、そして死後の法要までご相談に応じてまいります。

永代供養をお申し込みいただく際、度々ご質問をいただく内容に、以下の質問がございます。

「自分が亡くなれば、妻か息子がはすの会に連絡するが、最後の一人の息子が将来亡くなった時は、どうすればいいか?」

はすの会では、以下のご案内をいたします。

「友人、知人どなたでも結構です。最後のお一人にあたる方は、自分が亡くなったら、必ず「はすの会」に連絡して、と伝えておいて下さい。または、はすの会の名刺や連絡先のメモを残しておいて下さい。自身の納骨法要料と名簿変更料は生前お預かりする制度があります。訃報のご連絡があれば、必ず、最後の供養内容を変更し、持明院にて納骨法要を行います。」と。

これからは全国どこでも遺骨を引き取りに伺うサービスをおこないますので、(次回の会報にて、料金や制度をご案内いたします)会員の皆様にはよりいつそうご安心いただき、このご時世を日々お元気で過ごしてくださいませ。

瞑想のすすめ

別格本山持明院 住職・竹内崇雄



新しい時代「令和」の幕が上がりました。新たな美しく明るい時代への願いが感じられます。元号が変わっても、いま、世の中を見渡すと情報化社会の発達やテクノロジーの進歩に依り私たちの社会はめまぐるしい早さで変化しています。

AI(人工知能)の発達もよりスピードを増し、人がやるべき分野を脅かしています。

その一方で人の心、つまり道徳心や宗教心が置き去りにされ、今、心

を病む人が急速に増えています。

このような時代、私たちにとって何が必要なのでしょうか。逆境の時はずっとより順境の時にあつても、時には立ち止まり、静かに座つて瞑想し、自らの心の中をじつと見つめてみるこそ大切です。

欧米においても、かなり以前から仏教を源とする禅やヨーガ(瑜伽)が定着しています。瞑想の必要性が増している証でしょう。日本における「禅」は、鎌倉時代の道元禅師に始まるが、それより四百年も以前にお大師さまが唐から密教と共に持ち帰られた、すばらしい座行があります。「密教禅」と呼ばれ、「観法」ともいい、その特長は数息観・月輪観・阿字観という順を経て深い瞑想に入ります。

高野山は座行に最適の場所、妨げるものは何ひとつありません。目をつむるとお大師さまを感じていただけるでしょう。

金剛峯寺では阿字観の体験指導をしています。

秋の法要には、ゆとりをもってご参詣ください。合掌

秋季合同法要のご案内

暑い日が続きますが、さわやかな高野山の秋風はいかがでしょうか。皆様には今年もぜひお参りにお越しください。



◆日時

令和元年9月23日(月・祝)
12時30分～13時10分頃

(法要時間約40分・集合12時15分)

◆場所

持明院・本堂

(和歌山県伊都郡高野町高野山455)

◆法要料(参加費)

無料 (ご希望によりお布施の受け付けは
させていただきます)

◆ご参加

自由・予約不要

◆佛舍利宝塔の参拝時間

10時～15時30分まで

(合同法要時間中除く)

●持明院での法要(合同法要)の開始前後に仏舍利宝塔の参拝もできます。

●ご親族だけでなく、ご友人など
もご参加いただけます。

●当日は12時30分ちようどから始まり
ますので、15分前までにお
越しください。

●持明院には駐車場がありますが、
場所に限りがございますので、
できるだけ電車・バスでお越し
ください。

南海電鉄の特急(こうや号)は、
一ヶ月前から予約できます。

●高野山は山下より温度が下がります
ので、冷えやすい方は念のため
羽織るものをご持参ください。

●当日持明院でご昼食をご希望さ
れる方はご予約が必要です。

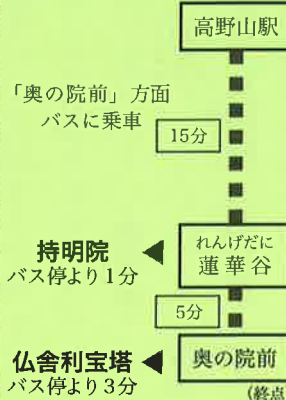
9月20日までにご連絡ください。
お一人様 2,160円

●この時期は大変混雑しており、
前日のご宿泊はお受けできません
ので、ご了承のほどお願い致
します。

南海電鉄 時刻表(3月～11月 土日祝専用)

	難波発	高野山駅着
行き	8:13	10:10
	8:36	10:29
特急3号	9:00	10:39
	9:02	10:49
	9:23	11:10
天空1号	9:36	11:29
特急5号	10:00	11:39
	10:02	12:10
帰り	高野山駅発	難波着
	13:53	15:55
	14:25	16:22
	14:47	17:02
特急10号	15:12	16:50
天空4号	15:21	17:22
	15:52	18:02
特急12号	16:10	17:50
	16:33	18:23

高野山駅からは
バスで約15分
(タクシーで約10分)



●お車の場合●

大阪方面からお越しの方は阪和道[岸和田和泉インター]より一般道170号線から480号(鍋谷トンネル)を経て笠



田より高野山へ。または阪和道(紀ノ川インター)より京奈和道に入り、かつらぎ西インターで降りて笠田より高野山へ。*京奈和自動車道は無料で利用できます。